

本号の記事

○第73回全国大会（愛知大会）概要

○全分科会の紹介

○本部活動報告

2020

協会ニュース 増刊号



名古屋城本丸御殿上洛殿上段之間

写真提供者：愛知県実行委員会

令和2年3月1日発行

全国公立高等学校事務職員協会

<http://zenjikyoo.jimdo.com/>

事務局：群馬県立太田フレックス高等学校

電話：0276-31-8047

住所：群馬県太田市下田島町 1243-1

第73回 全国公立高等学校

事務職員研究大会

(愛知大会) IN 名古屋

1 期日・会場

- (1) 全国理事会 令和2年7月29日(水) ウィンクあいち
- (2) 研究大会 令和2年7月30日(木)～31日(金)
- ・全体会 名古屋国際会議場 (センチュリーホール)
 - ・第1分科会 //
 - ・第2分科会 // (2号館 211・212)
 - ・第3分科会 // (2号館 234)

2 日程

時刻 月 日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
7月29日 (水)	全国協会 打合会	全国協会・ 実行委員会 打合会	休憩	監査・ 総会機 関打合	休憩	全国常任 理事会	休憩	全国理事会		
7月30日 (木)			受付	研究会 表彰式	休憩	文部 科学省 講話	休憩	全体会 (記念講演)	休憩	総会
7月31日 (金)	受付	分科会 (前半)	(休憩)	分科会 (後半)			休憩・ 移動	閉 会 式		

第72回兵庫大会では、「あなたに会いたい兵庫がいます。」のご案内のとおり、兵庫県のみなさまを始め、全国の方とも新たな出会いがあり、大変すばらしい大会であったと思います。また、会場のウインク武道館においては、普段は柔道等で使用される競技場を研究大会用にセッティングするために様々なご苦労があったと思います。大会運営にご尽力をいただき誠にありがとうございました。改めて敬意を表するとともに、本県の視察に対してのお心配りに感謝を申し上げます。

さて、第73回全国大会（愛知大会）は、本年7月29日から31日まで、愛知県名古屋市の「名古屋国際会議場」で行われます。メイン会場として、有名アーティストやアイドルがコンサートやライブを行う「センチュリーホール」を用意しています。とても大きな会場ですので、大勢の方にご参加いただけます。みなさまにご参加いただけますよう、よろしく願いいたします。

会場のある名古屋市は、日本の中心（“Heart” of JAPAN）である愛知県の西部に位置する県庁所在地で、人口が200万人を超える大都市です。日本三大都市圏の一つで、東京・大阪の間にあることから交通の要所となっており、数年後にはリニア新幹線も開通する予定です。日本のほぼ中央にあることから、どこからでも来やすいところと言えます。

また、大会の楽しみとして、その土地の食べ物があります。名古屋と言えば、なごやめし。地元アイドルグループSKE48の歌詞にもありますが、「ういろう 天むす 味噌煮込み 手羽先 きしめん ひつまぶし…」等、他ではなかなか味わえない食べ物が沢山あります。名古屋駅や繁華街の栄でしたら、お店はすぐに見つかると思います。

更に、歴史に目を向けますと、愛知県は三英傑（織田信長・豊臣秀吉・徳川家康）の出身地であり、金のしゃちほこで有名な名古屋城を始め、所縁のある建物・場所が沢山あり、歴史を存分に感じることができます。そして県内は、自動車産業や航空産業等の工業・産業が盛んなところでもあり、関連する観光施設も沢山あります。ご参加のみなさまには、ぜひご宿泊いただいて、愛知県の文化・歴史・技術を感じていただけたら、と思います。

最後になりますが、愛知大会はオリンピックで日本中が盛り上がっている開催期間中に行われます。しかし、愛知大会を盛り上げようと実行委員含め愛知県の事務職員がONE TEAMとなって準備に取り組んでおります。是非、愛知大会へお越しく下さい。

愛知大会実行委員会一同、多くのみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

全体会（記念講演）「カレーなる私の人生」

講師 カレーハウス CoCo 壺番屋創業者・NPO 法人イエロー・エンジェル理事長・宗次ホール オーナー 宗次 徳二 氏

プロフィール カレーハウス CoCo 壺番屋創業（1978年1月）
NPO イエロー・エンジェル設立 理事長就任（2003年1月）
クラシック専用 宗次ホール オープン 代表就任（2007年3月）
株式会社ライトアップ設立 代表就任（2012年4月）

<著書> 成功するカレーハウス驚異の社長製造法
夢を持つな！目標を持って！（商業界） など

<表彰>アントレプレナー大賞部門 中部ニュービジネス協議会会長賞 受賞
2004年 第6回企業家賞 受賞 など

(CURRY HOUSE CoCo 壺番屋創業者宗次徳二ホームページプロフィールより一部抜粋)

<午前部>

○ 研究発表

(1) 文書の編集・保存・廃棄について～“片づけ”を意識し行う文書管理のススメ～

北海道室蘭工業高等学校 事務職員 諸星 明子
北海道室蘭清水丘高等学校 事務主任 岩崎 洋和

教育行政の改革やICTの発達で学校事務室を取り巻く環境は大きく変わりました。しかし、紙文書の編集（ファイリング）・保存・廃棄は、昔も今も学校事務の基本業務であり、文書の片付けとも言えます。

本研究では2冊の書籍を参考に理想的な文書の片付けを追求し、また片付けの意義を探究しました。各校が文書の処理・検索・保管場所などで、日常困ることが無いようにという思いで取り組んだ研究です。

(2) 「晴れの国おかやま」を襲った豪雨災害～事務職員の視点から学んだこと～

岡山県立倉敷まきび支援学校 総括主幹 藤井 國昌

岡山県は、平成30年7月豪雨災害により各所で甚大な被害を受けました。

県立学校においても例外ではなく、中でも河川の氾濫により水没し、著しい被害を受けた倉敷まきび支援学校の復旧への取組について、「事務職員としてやるべきことは何か」を考える一助になればと思い、活動内容について整理、記録したものを発表します。

(3) 学校事務職員とAI（人工知能）～AIと共存していく学校事務職員とは～

群馬県立桐生高等学校 主事 大澤 崇人
群馬県立新田暁高等学校 主事 小田切 航
群馬県立大間々高等学校 主事 木田 和弥

AIやRPAによって学校事務職員の仕事が奪われるのではないかとといった不安の声をよく聞きます。確かに一部業務では代替可能性も高いはずですが、AIやRPAと言っても本質はアルゴリズムであり、学校事務の全ての業務が代替されるわけではないでしょう。

AIにできることできないことを知り、これからの時代の学校事務職員の在り方、心構えやどのように学校運営に携わるべきなのか、AIと共存していくために必要なことを考察しました。

<午後の部>

I 基調講演

仮題 「社会の変化とAI導入の意義」
～Society5.0時代の到来が教育界にもたらすもの～

講師 愛知教育大学准教授 風岡 治 氏

II パネルディスカッション

仮題 「AIとの共存の先に見える学校事務の将来像」
～私たちが目指すべき姿とは～

パネリスト ①基調講演講師 愛知教育大学准教授 風岡 治 氏
②NECソリューションイノベータ(株) 東海支社 深谷 洋 氏
③茨城県立内原特別支援学校 事務長 武石 恵子 氏

○ 問題提起

超スマート社会と言われる「Society5.0」が訪れようとしている。

大きな変革となる「Society5.0」を背景にスマート自治体として政府が目指す姿は、人口減少社会においても自治体が持続可能な形で行政サービスを提供し続け住民福祉の水準を維持すること、職員でなければならない、より価値のある業務に注力できるよう職員を事務作業から解放すること、団体の規模・能力や職員の経験年数に関わらずミスなく事務処理を行うことであり、その実現にはAI技術を含めたICTの利活用は必要不可欠であるとされている。

私たち学校事務職員もAI・RPAの活用により、定型的業務中心から今後は教育の革新を支えるリソース・マネジャーとして、より一層学校運営に参画していくことが必要となる。AI・RPAの導入及び活用においては、これらの特性を理解するとともに導入対象業務のプロセスを標準化させるなどのスキルが重要であることは言うまでもないが、それと合わせて社会の変化に適切に対応していくためにも学校事務職員の役割の変化を認識することが大切であると考えます。

国内企業による試算では、人工知能やロボット等による代替可能性が高い職業の一つとして学校事務を挙げている。学校事務の業務における多様性を正しくとらえた上での試算であるかは疑問だが、多くの学校事務職員が将来に不安を感じているところではないだろうか。

そこで本分科会では、急速に進む社会の変化と技術の革新を認識し、行政職員としての知見を広めるとともに、AI・RPA導入時における学校事務への影響について講義・パネルディスカッションを通して考察し、定型業務から開放された先にある、より一層学校運営に参画できる学校事務職員としての役割と将来像を展望する。

○ 討議の3本柱

- 1 社会の変革と自治体行政へのAI・RPAの導入の意義
- 2 AI・RPA導入時における学校事務への影響を考察
- 3 AI・RPAとの共存の先にある事務職員の役割と将来像

〈午前の部〉

○ 研究発表

(1) コバトンに叱られる～学校の不用品マネジメント～

埼玉県立狭山緑陽高等学校	主事	金井	雅博
埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校	主事	平野	郁馬
埼玉県立新座総合技術高等学校	主事	前田	拓之

環境マネジメント・3R（リデュース、リユース、リサイクル）・産業廃棄物の3つを中心とした環境に良いことについての研究発表です。

環境マネジメントでは、埼玉県や県立学校で実際に行っている目標、達成手段を紹介し、また3Rでは、学校で実際に行ったリユース・リサイクルの実験・検証・改善をはじめ、埼玉県全体で取り組んでいるリユース・リサイクルの紹介や改善の提案を行います。

さらに産業廃棄物の処分については、採用2年目とベテラン主任による学校にあるあるの粗大ごみについて、適切に処理していく様子を会話形式でご覧いただきます。

(2) 事務職員協会による学校の事務改善の取り組みについて (仮題)

奈良県立登美ヶ丘高等学校 係長 久保 英樹

奈良県では、他の多くの都道府県と同様に学校事務職としての採用区分がなく、知事部局に採用された行政職員が、知事部局と教育委員会との間を異動するため、個々の学校事務職員は自分の業務に対する熱意はありますが、学校事務全体を充実・改善しようという意欲に乏しいように感じられています。そのような現状から、奈良県事務職員協会が主導して学校事務全体の事務改善について、各種の方策を検討していきます。

これらは現段階における研究発表内容の趣意ですが、実際の発表に向けて、現在さまざまな検討を行っているところです。

(3) 「クローズアップ旅費」～より良い研修を目指して～

長崎県立佐世保中央高等学校 主任 米澤 潤二
長崎県立佐世保工業高等学校 主事 北田 智美

「旅費事務」は、会計やサービスといった事務処理の基本がわかり、初めて担当する者でも比較的取り組みやすいものとして、初任者に任されることが多い事務です。しかし実際には、マニュアルどおりに処理できないケースや先生方からの問い合わせなど、初任者にとっては対応が難しい場面も多く発生します。そのような「旅費事務」について、トラブルになりがちなテーマを具体的に2例挙げ、寸劇仕立てで発表を行います。研修は楽しくをモットーに、使用するビデオ制作にあたっては、研究を主管する学校の放送部の生徒に協力を得るなど工夫を凝らし、事務職員同士のつながりと絆を大切に笑顔がいっぱいの研究発表としています。

難局を乗り越える若い事務職員の姿に、何かを感じ取っていただければ幸いです。

〈午後の部〉

I 基調講演

仮題 「“非”常識が仕事を变える？」
～ 意識が変われば仕事も変わる！ ～

講師 (株)ワーク・ライフバランス代表 小室 淑恵 氏

II パネルディスカッション

仮題 「“カエル会議”で、人と仕事が見えてくる」
～ 意識をカエルと、仕事も生活も変わり出す ～

パネリスト ①基調講演講師 (株)ワーク・ライフバランス代表 小室 淑恵 氏
②愛知県教育委員会教育企画課教育政策グループ 主査 伊藤 和正 氏
③愛知県立一宮西高等学校 事務長 宇都宮 裕人 氏

○ 問題提起

民間企業で導入が進む働き方改革。学校における改革についても少しずつ実践が浸透しつつある。中央教育審議会は、平成31年1月の答申において、教職員の多忙化を解消するために、学校事務職員を含めた外部人材の活用を中心とした方策を打ち出した。

しかし、学校における働き方改革の根幹は、将来を担う子どもたちの健全な育成である。少子高齢化や大介護時代を乗り切るためには、自ら課題を見出し、問題を解決しうる人材の育成が急務であり、これまでの学校教育では対応が難しいのが現状である。その大きな原因は、長時間労働による大量生産時代に必要とされる画一的な人材が求められたこれまでの社会構造、また、残業やプライベートの犠牲が当たり前の考え方の遺物であって、その視点を欠いた働き方改革では根本的な解決には至らない。行事の精選や仕事の見直しなどにより、教員の残業時間を自身の自己研鑽やリフレッシュの時間に充てることで、生徒や保護者に向き合う自信と余裕を獲得することが、学校全体のワーク・ライフバランスにつながり、実現その実現が求められている。

そこで、他業種の働き方改革の成功例を踏まえながら、これからの人材を育成する学校を目指した働き方改革の重要性について、認識を共有するとともに、ワーク・ライフバランスを実現するため、学校のビジョンを明確にし、そのビジョンの実現に向けて、私たち学校事務職員が実践できる方策や具体的手法を明確にしていく必要がある。

本分科会では、学校事務職員が、カエル会議の手法を活用しながら、自ら時間や業務の効率化を検証し、職員同士がそれを共有し、意思疎通を活性化させる働き方を実践することで、ワーク・ライフバランスの実現を図る。さらに学校全体の働き方改革をなすうするため、具体的な取り組み事例について情報を共有し、改革の意識を高め、実践へとつなげる取り組みのきっかけを見出していく。

○ 討議の3本柱

- 1 学校におけるワーク・ライフバランスの必要性と効果
- 2 会議の手法で仕事を見える化し、業務の効率化を図る具体的方策
- 3 既成の常識にとらわれない、学校事務職員の実践

〈午前の部〉

○ 研究発表

(1) 「初任者層研修会の講師を取り巻く環境の改善」

宮城県古川黎明高等学校	主事	土井 学
宮城県中新田高等学校	主査	佐々木 慎吾
宮城県小牛田農林高等学校	主事	藤倉 司

初任者層研修会の講師において、選ばれた研修幹事（若手）が担当をすることが多いため、講師を担当する不安や運営の講師に対するフォローアップ体制の未整備等、講師を取り巻く環境に問題がありました。その課題改善をするために改善目標を設定し、また課題を改善するために提案した学習指導案を参考とし、進行案の作成・導入を行いました。これらの実践を通して問題改善を行ったその2年間の取組みについて発表します。

(2) 県立学校避難所対応マニュアル作成の手引～大規模災害に備えて～

富山県立高志支援学校	係長	川向 裕子
富山県立水橋高等学校	主任	宮本 真紀

大規模災害発生時には、避難所に指定されている学校だけでなく、指定されていない学校においても、災害規模や被害状況によって避難所になることは過去の事例から見ても明らかです。

学校が避難所になった場合の教職員による避難所運営対応時に備え、すぐに活用できるよう前準備と災害発生直後の初動体制から避難所開設までに重点をおいた「学校避難所対応マニュアル」を整備するための“手引き書”を作成しました。



I 基調講演

演 題 「大人の発達障害について」
～ 職場内における理解とコミュニケーションスキル ～

講 師 名古屋市発達障害者支援センター「りんくす名古屋」の職員

〈午後の部〉

II グループ討議

テーマ 「人材を活かす職場環境と組織力の構築」
～ 障がいの特性を理解したより良い職場環境づくり ～

指導者 名古屋市発達障害者支援センター「りんくす名古屋」の職員

○ 問題提起

2016年の厚生労働省調査によると、発達障害と医師に診断された人は推定48万1千人。診断を受けていない人を含めるとその10倍以上いるといわれている。中でも最近では、大人の発達障害という言葉が耳にすることが増えた。先天性の脳障害であるが、程度が軽度だったため、社会に出てからコミュニケーションが上手くとれないためにメンタル不調になり、病院で診察を受けたところ、発達障害が判明することもあるという。発達障害という言葉は最近メディアでも取り上げられる機会が増えているが、正しく理解されているだろうか。単純に性格だからと判断するのではなく、組織として、また事務室の一員として発達障害を理解し、発達障害との関わり方で悩んでいる個人や職場が、職場改善の必要性などについて考えることは重要であり、限られた時間や資源の中で、人材力・組織力を育成し、最大限に発揮していくために必要と考える。

また、2018年4月からの精神障害者雇用義務化に伴い、発達障害や働きづらさを抱える職員との協働の機会は、より一層増える可能性は高くなる。

そこで、本分科会では、「大人の発達障害」にスポットを当て、現状と課題・対応を探る。大人の発達障害とは？といった広義から、統計値でも増加が確認されている、私たち学校事務職員にフォーカスした原因・対応などを、相談事例を踏まえた専門家の講義を通じ学ぶ。また、参加者によるグループワークを通し意見交換や質疑応答を行う中で、個人が抱えている悩みと組織が抱えている悩みは何か？問題の洗い出し、うつなどの発症予防や、軽減するための職場環境改善につながるヒントやきっかけを得る機会にしたい。さらには、同じ職場内において発達障害を持つ職員がいる場合のケーススタディーを取り入れ、関わり方など実践的なスキル習得を目指す。

発達障害に対する一般論ではなく、個人及び組織としての理解と協働のための職場づくりを意識し、現場や個人で取り組める具体的な方法と行動について学ぶ。

○ 討議の3本柱

- 1 大人の発達障害に関する知識習得と対応方法
- 2 個人及び組織としての理解と職場改善の必要性
- 3 職場環境改善と相互理解に向けた具体的、実践的スキルの習得

たくさんのご参加、お待ちしております！

第3分科会

基調講演

演題 「大人の発達障害について」

～職場内における理解とコミュニケーションスキル～

講師 名古屋市発達障害者支援センター「りんくす名古屋」の職員

グループワーク

テーマ 「人材を活かす職場環境と組織力の構築」

～障害の特性を理解したより良い職場環境づくり～

愛知大会第3分科会では、「大人の発達障害」についてグループワークを行います。

発達障害は脳機能の発達に関係する生まれつきの障害です。

コミュニケーションや対人関係を作ることが苦手な方もおり、「自分勝手」「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。「障害のある方と働くのはむずかしい」「特別なことをしなくてはならない」と思っている方もいるかもしれません。でも、障害の有無にかかわらず、だれにでも弱みや強みがあるように、それをどうカバーするのか、また伸ばすのか、組織として、また事務室の一員として発達障害を理解し、発達障害との関わり方で悩んでいる個人や職場が、職場改善の必要性などについて考えることは、とても大切なことです。そこで、専門家の講義とグループワークを通して、発達障害に対する一般論ではなく、個人及び組織としての理解と協働のための職場づくりを意識した、現場や個人で取り組める具体的な方法と行動について学びませんか。

多くの仲間とたくさん意見を交換することで、建設的な話し合いの場をめざします。

是非、多くの皆さんの参加をお待ちしております。



全国大会会場案内

外観 (名古屋国際会議場)



第1分科会場 (センチュリーホール)



第2分科会場 (2号館 211・212)



第3分科会場 (2号館 234)



本部活動報告

- 常任理事会（東京・小山台会館）
1月17日 ・第2回愛知大会合同打合せについて
 ・令和2年度事務職員研修会について
- 第2回愛知大会合同打ち合わせ会（愛知県 名古屋国際会議場ほか）
2月24日～25日 ・会場視察
- 本部常任理事異動
退任（11月30日付） 研究部 大原 三夫（埼玉県立越谷特別支援学校）

編集後記

表紙（写真）の名古屋城本丸御殿上洛殿は、創建当初はなかった建物で、1634年（寛永11年）の徳川家光が上洛する際に新築されました。別名「御成書院」とも呼ばれる、本丸御殿のなかでもっとも格式の高い殿舎です。江戸時代には「御書院」や「御白書院（おしろしょいん）」と呼ばれました。

今回の増刊号は、全国大会の分科会の概要及び会場についてお知らせしています。また、研究発表のコメントも記載しましたので、大会参加希望者が分科会を選択する際の参考になれば幸いです。

開催案内等は、協会ホームページに近日掲載します。また、大会日程・分科会構成表並びに参加申込方法等もダウンロードできます。参加申し込みについては、インターネットで行いますので、申し込み方法をよく読んでお申し込みください。

次号「協会ニュース」では、第73回全国大会(愛知大会)特集号を7月に発行する予定です。
(柴崎)

○全国協会HPアドレス <http://zenjikyو. jimdo. com/> 「全国公立」で **検索**可能です。

○「協会ニュース」に関するお問い合わせは広報部編集担当まで

・茨城県立竜ヶ崎第一高等学校／宇佐美

・茨城県立水海道第二高等学校／柴崎

TEL：0297-62-2146

TEL：0297-22-1330

FAX：0297-62-9830

FAX：0297-22-5489

mail：usami.fukumi@post.ibk.ed.jp

mail：sibasaki.seiji@post.ibk.ed.jp